

=私たちの活動 4つの柱=
 *制度化と指導員の身分保障
 *専門性と仕事の確立
 *父母と共に学童保育運動の発展
 *全国の指導員との団結と連帯

建交労全国学童保育部会

ニュース学童保育

2017. 5. 8.
 NO. 12
 全日本建設交運一般労働組合
 全国学童保育部会 発行
 編集：事務局

神奈川県本部とともに、川崎市と交渉

自主学童の実績を訴える 理解のない 市の答弁に怒り

4月20日県本部統一行動で市庁舎前でチラシ配布とことも未来局青少年支援室担当課と交渉を行いました。

要請内容の柱は、川崎市は国の放課後児童クラブの補助金を自主運営の学童保育各所におろすこと、そのために必要な要項を作成してほしいという内容です。

市側は「わくわくプラザ事業は量の見込みに対し対応が可能であることからわくわく一本でいく、要項を作成することはまったく考えていない」と昨年までの答弁と同じでした。私たちが、国は量と質の拡充をはかり、予算を増加させていること、14年間自主運営の学童保育は量、質とも



自主運営の学童保育に、補助金を下ろすよう訴えました。

にカバーしてきていることを伝えました。神奈川県も県下の学童保育を拡充していく立場で発言しているし、隣の横浜市では放課後児童クラブと全児童のすみわけをして予算をつけていることを伝

え「国や県、横浜市の施策をみて川崎市は矛盾していると思いませんか」の問いに「いや、

くまで低くなっている、川崎も転換するチャンスではないかとつめま

事務折衝を通して学童保育への理解を深めていくようにきめ細かい配慮をしていきたいです。

(川崎支部
 峯松千鶴子)

新任指導員向け学習会、対象者23人参加 愛知支部



愛知支部は、4月27日(木)、新任指導員を対象に「はたらくって、ということ」という学習会を開催し、全体で54人、そのうち、新任指導員は23人が参加しました。

支部役員から、「指導員の仕事とは」「労働条件について」「あなたも、労働組合へ」の3つのテーマで講演し、その後グループ討論を行いました。

この取り組みを、組織拡大へとつなげていきます。

グループ討論では、職場でのわからないことなどを出し合いました。